

## 令和3年度 学校評価アンケート結果のご報告

保護者の皆様には、ご多用の中、学校評価アンケートへのご協力をいただき、ありがとうございました。集計結果がまとまりましたので、ご報告いたします。結果につきましては、今後の学校運営の参考とさせていただきます。なお、回答数は144(児童数185)で、回答率77.8%でした。

	児童	保護者	教職員
1 学習内容を理解している	3.5	3.4	3.3
2 話す・聞く力が身についている	3.5	3.3	2.9
3 学習への心構え、準備ができている	3.4	3.3	2.9
4 学校は、体験活動を重視し表現力を伸ばそうとしている	3.5	3.3	3.4
5 家庭学習に積極的に取り組んでいる	3.1	2.9	3.1
6 ICT機器を活用したり、プログラミング教育に積極的に取り組んだりしている	3.6	3.3	3.5
7 家族や友達、地域の方などにきちんと挨拶をしている	3.7	3.3	2.8
8 ルールや決まりを守り、規律正しく生活している	3.7	3.5	3.3
9 学校行事や児童の活動において児童の主体性を大事にしている	3.6	3.5	3.4
10 いじめや問題行動に対して、迅速に対応し解決しようとしている	3.5	3.4	3.5
11 教育相談を充実させ、児童の悩みを解決しようとしている	3.2	3.3	3.4
12 積極的に運動に取り組んでいる	3.5	3.3	3.0
13 学校は、児童にバランスの良い運動体験をさせようと工夫している	3.6	2.9	3.3
14 食材に興味を持ったり栄養を考えて食事をしようとしたりしている	3.2	2.9	2.9
15 健康について関心をもち、自ら健康保持に努めようとしている	3.6	3.0	3.0
16 各種お便りやHP等によって教育活動を積極的に発信している	3.4	3.4	3.7
17 必要に応じて連絡帳や電話連絡などで、家庭と連携がとれている	3.5	3.5	3.8
平均	3.5	3.3	3.2

学習に関しては、おおむね良好と捉えていますが、教職員は「話す・聞く力」「学習の準備」に関してまだ十分でないと判断しています。また、「家庭学習への取り組み」に関して三者とも低い評価となっています。自主学習を含め学び方を意識できるよう授業改善に努め、進んで学習ができる児童の育成（よく学び）を目指していきます。また、昨年度職員による評価が低かった「ICT機器の活用」(2.2→3.5)での改善が見られました。一人1台タブレットの活用の充実など今後も指導・活用を継続してまいります。

徳育に関しても、おおむね良好と捉えています。昨年度教職員による評価が低かった「礼儀・挨拶」(2.5→2.8)については、引き続き評価が低い結果となりました。「自分から、大きな声で、相手の目を見て」を大切にしながら今後もそのような挨拶ができる子供を育てることを目指して指導してまいります。

運動や体に関しては、児童と保護者、職員との間に捉え方大きな差がみられる項目が複数あります。「運動への取り組み」では、ギガタブの使用が常態化し運動の機会が減ったこと等休み時間も含め児童が体を動かす機会、環境を整えるよう取り組んでいく必要があります。「食生活、病気の予防」については、家庭科や主任栄養士による食育授業、養護教諭による健康授業など教員の専門性を生かしながら子供たちの意識をより高めていく必要があります。

これからも保護者の皆様との連携を大切しながら、子供たちがのびのびと、生き生きと学ぶことができるより良い学校になるよう全教職員で取り組んで参ります。今後ともご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。